

(宛先)

関東ラグビーフットボール協会レフリー委員長

関西ラグビーフットボール協会レフリー委員長

九州ラグビーフットボール協会レフリー委員長

都道府県レフリー委員長

日本ラグビーフットボール協会レフリー及びレフリーコーチ殿

平成 20 年 6 月 10 日

日本ラグビーフットボール協会

レフリー部門長 吉丸 秀利

試験的実施ルール (ELVS) 適用に関する確認事項のご連絡

日本協会レフリー部門活動に関しまして、日頃のご支援及びご協力を賜り、誠に有難うございます。さて、5月24日全国都道府県レフリー委員長会議において、首題試験的実施ルール (ELVS) の伝達講習を実施しましたが、その後の IRB との確認において、説明内容に関して以下の通り、一部修正をさせて戴きますので、内容ご確認の上、周知徹底を下さる様御願いたします。

なお、IRB ELVS ガイドの日本語版を添付しますので、各地域及び都道府県でのルール伝達講習会でご活用下さる様御願いたします。

1 . 19 条 タッチ及びラインアウト

19.1 地域獲得が得られない場合

添付図 1 の通り、22m 区域外タッチキックを防御側プレーヤーがタッチライン外側を走り、22m 区域内にクイックスローインした場合において、そのボールを受け取り、キックして直接タッチとなった場合は、地域獲得は得られない。(IRB ELVS ガイド P7 参照)

2 . 20 条 スクラム

20.12 スクラムにおけるオフサイドでボールを獲得できなかった側のスクラムハーフのオフサイド位置については、味方チームの最後尾の足の位置まで移動できる。(IRB ELVS ガイド P14 例 b 参照方。)

“ b ” の範囲は、添付 2 にグリーンゾーンに示す通り、最後尾プレーヤーの足の位置の左右真横と真後ろである。

なお、図中の ~ はオフサイドである。

【添付資料】

1 . I R B E L V S ガイド

2 . 補足説明図